

外国語活動部 活動報告

部長 鈴木 利奈
副部長 坂井 進

1 研究主題

外国語活動に親しむ子どもの育成

2 研究内容・方法

- (1) 講師を招いて、外国語活動についての知見を広め、指導力の向上を図る。
- (2) 授業実践をもとに、情報交換及び指導のあり方についての研修をする。
- (3) 授業研究を通して、主題に迫るための方策を考えていく。

3 活動の概要

期日	主な活動内容	会場
4月13日(水)	○研究計画の立案 ・部長、副部長の選出 ・今年度の研究計画作成	三川小学校
5月11日(水)	○指導力向上研修 「英語ノート1を使った授業の展開例、児童が意欲的に取り組む導入の工夫について」 ・講師 三川小学校 ALT	三川小学校
6月15日(水)	○外国語活動実践情報交換会 ・過去の実践や9月の授業研究にかかわっての実践アイデアを持ち寄り、交流した。	上条小学校
8月24日(水)	○指導案検討会	三川小学校
9月14日(水)	○授業研究 第5学年外国語活動 Lesson5「買い物をしよう」 ・授業者 三川小学校 田中 昭洋 教諭 ・指導者 下越教育事務所学校支援第2課指導主事	三川小学校

4 活動の実際と成果

(1) 指導力向上研修

三川小学校のALTの先生から、外国語活動の授業を組み立てる際に気をつけることなどをALTの立場からお話いただいた。英語ノートでは1つのLessonが大体3～4時間で構成されているが、その1時間1時間の中でReview, Practice, Activityのどこに重点をかけるかが変わってくると教えていただいた。それを踏まえて、小グループごとにLesson5「いろいろな衣装を知ろう」のある1時間の授業の構成を考えて、ミニ模擬授業を行った。また、肯定文・否定文・疑問文などを子どもたちが言えるようにするためのカードの使い方なども教えていただき、授業を行う上でのヒントとなった。

(2) 外国語活動実践情報交換会

各自が過去の実践や9月の授業研究にかかわっての実践アイデアを持ち寄り、交流し合った。子どもたちが外国語でのコミュニケーションを通して、その楽しさを体験し、積極的にコミュニケーションを図ろうとするには、目的意識をもたせることが重要であると話し合われた。

・Lesson5「いろいろな衣装を知ろう」の活動例(津川小・日出谷小・鹿瀬小・三川小・上条小)

- ・ALT やゲストティチャーを招いて活動を行うときの場の工夫（西川小）
- ・コミュニケーションの素地を養う教育課程の編成（三郷小）
- ・積極的にコミュニケーションを図るための授業構成（津川小）
- ・Lesson 5 「道案内をしよう」（英語ノート2）の実践（三川小）
- ・Lesson 6 「行ってみたい国を紹介しよう」（英語ノート2）の実践（鹿瀬小）

(3) 授業研究 活動名 Lesson 5 「買い物をしよう」（本時4 / 4）

①本時のねらい オリジナル・タウンを作って、買い物をしよう。

②本時の提案

〈手立て1〉自分の売りたい商品や開きたいお店を作り、お店とお客の人数を調整する。

〈手立て2〉お金、ポイントカードを用意する。

↓上記のような手立てをすれば…

英語表現を使って、積極的に買い物をしようとする子ども に変容するだろう。

③協議会での意見

- ・子どもたちがみんな笑顔で活動していた。「買い物をする」という目的意識をもって取り組んでいたのはよかった。
- ・金額が言えなかった子もペアの子に教えてもらい、活動を通しながら言えるようになっていく様子も見られた。
- ・目の前に品物が並んでいたり、値段が書いてあったりするのので、“Do you have~?” や “How much?” の表現を使う必然性があまりない。商品を隠しておく、値段を裏に書くなどの工夫が必要。
- ・子どもたちが自分の売りたい商品を作っているのので、何と言って尋ねたらいいのか分からないものもあった。子どもたちの興味・関心の度合いと教師の意図の兼ね合わせだが、ある程度の制約があってもよかった。



④指導

- ・本時の手立ては子どもたちの意欲を高めることには有効に働いた。しかし、英語でコミュニケーションを図ることには有効であったかという点、まだまだである。目指す子どもの姿として「英語表現を使って」という部分についてのウェイトを考える必要がある。子どもたちは友達が英語で話すことを聞こうとする気持ちはあったが、英語で言うことは難しい。言わせたい英語表現があって、それを使う必然性をもたせるための場面設定の工夫は欠かせない。また、授業の導入での復習と場面設定の中での復習では意味が違って来る。一人一人がきちんと英語を話す活動を確保するためにも、Practice のあり方が重要であり、慣れ親しみのポイントはそこにある。
- ・児童の振り返りカードを分析して評価に生かしていく。教師も授業の振り返りを文章で記述して、児童の自由記述とつきあわせて見ると、次の指導に生かすものが見えてくる。

今年度から新しく開設された部会であるが、各部会を通して子どもたちが外国語活動に親しむための手立てや工夫を研修することができた。また、指導案検討会からは中学校の英語担当の教諭にも参加いただき、小中連携を図ることもできた。